

Your beautiful name

校長 武井 正明

今日は、以前にも話題にしたことのある、名前について書こうと思います。

みなさんは、親御さんに自分の名前の由来を訊いたことがありますか？意外と、照れくさくて訊いたことがない人が、実際は多いようです。

先日、親が子に与える最初のプレゼントは誕生日です、と書きました。きっとその次の贈り物が名前なのだと思います。この大仕事を「命名」と言います。

私たち夫婦で、若干意見が分かれたのが「萌子」にするかしないか。

私は、母親が「子」義母も「子」妻も「子」（好きになったことのある女性が実は、殆ど「子」…これは秘密）だったので、絶対に「子」だと最初から決めていました。

一方妻は、自分の「～子」が時代に合わず、「子」は古いのではと思っていました。「子」ではない今風の名前に、多少のあこがれもあったようです。

何が古臭い。時代など関係ない。武井家は「子」に決まっているのだ。

ただ、当時流行っていたテレビドラマで桜井幸子が演じていた役の名前が「萌香（もか）」

この桜井幸子が良かった。これでかなり揺れたね。でも、最終的には妻が折れました。それで決まったのが「萌子」何度見てもいい。我ながら、実にいい仕事をした。

全然そんなことは考慮していなかったのですが、私の父が「俺の字を入れてもらった!!」と大喜び。「茂」正確に言うと、字ではなく部首だね。まあ喜んだ。私は私で、さり気なく自分の名前の一部「明」をしっかり入れた。

画数は殆ど気にしませんでした。どうせ結婚すれば運命なんて変わるのだから…。

生まれた季節には拘りました。生まれ月は弥生三月。早春の生命が芽吹く、希望に満ちた文字を選びたい。その時ふっと浮かんだのが、以前晩秋に訪れた「萌木の里」。あの豊かな自然が、ずっと印象に残っていました。その絶景がパッと浮かんで「これだ!!」となったわけです。

そして今、吉中学級写真ひとりひとりの顔写真を見比べながら、親御さんの愛情がたっぷり詰まった、それぞれの名前の由来に思いを馳せています。

「真侑子さん」「智依子さん」「桃子さん」「茉友子さん」「命子さん」「莉子さん」「憧子さん」「俐子さん」「陽奈子さん」「愛子さん」「雛子さん」吉中生で計11人!!
職員だっているぞ。「素子さん」「綾子さん」「美穂子さん」「直子さん」「キミ子さん」「伸子さん」「和子さん」「美智子さん」「真紀子さん」「弘子さん」計10人!!

21人それぞれに由来が興味深い。やっぱり「子」は譲れないなあ。

そして、その名前の背景には、決定までの大切なストーリーが隠されているはずです。君たちが生まれる前から、人生の物語は既に始まっているのです。